



# Press-release/E-flashから

『ITUジャーナル』編集部

Press-release

① 9月4日：

次世代ネットワーク (NGN) が通信を変える  
投資の促進やアクセス網整備に向けた指針を公表

**Next-generation networks set to transform communications**

ITU issues guide for Regulators to foster investment and access

(出典：[http://www.itu.int/newsroom/press\\_releases/2007/20.html](http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2007/20.html))

ITUは、第8版目となる“Trends in Telecommunication Reform: the Road to NGN”を発刊した。今回の版では、世界中の電気通信事業者が、競争力を維持しようとして回線交換型の電気通信ネットワークから次世代ネットワークへ進化させようとしている状況を報告している。開発途上国の政策担当者や規制機関関係者にとっては、情報通信技術 (ICT) の世界の変化を正しく認識することができ、技術の発展や市場の育成に役立つ情報が記載されている。ICTの世界で起きている進化は、通信の仕方やビジネスの仕方も変えつつある。発展途上の国々は、情報社会の実現と、先進諸国とのデジタルディバイドの拡大を防ぐため、NGNへの移行に乗り遅れまいとしているが、大事な点は先進諸国の真似をすることではなく、新しい技術を使って自分たちの目的をどう実現していくかである。幸い、ICTの発展は著しく、改革や投資の妨げになる規制を排除していくような政策を採っていれば、広帯域無線アクセス技術などの最新技術を導入していくことが可能となっている。2006年末での固定と移動の加入者数は、全世界でほぼ40億 (固定12.7億、移動体26.8億) に達しているが、50か国ある最貧国の中で、広帯域サービスを提供しているのは22か国のみ、かつ提供スピードの割に非常に高額な料金となっている。今回の版は、ICT market and regulatory overview, an NGN overview, an analysis of NGN technology, a look at fixed-mobile convergence, interconnection and access in an NGN environment, international Internet interconnection, universal access and NGN, Quality of Service, the enabling environment for NGN, a conclusion and a look aheadの10章から構成されている。

② 9月6日：

ペルー地震の被害から重要な通信回線が回復  
ITUが被災地域に衛星通信ターミナルを投入

**Vital communication links restored after Peru quake**

ITU deploys satellite terminals in affected areas

(出典：[http://www.itu.int/newsroom/press\\_releases/2007/NP09.html](http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2007/NP09.html))

8月15日、マグニチュード7.9の壊滅的な地震がペルー南部を襲い、500人以上が死亡、何千人もの人々が被災したのを受けて、ITUは、遠隔地で通信が途絶した地域の通信回復を支援するため50の衛星通信ターミナルを投入した。

ペルー通信省副大臣のMs Cayetana Aljiovinによれば、これらのターミナルは、通信サービスのない地域に投入されるもので、緊急援助隊と政府機関の救助と救援活動を可能にするものである。

ターミナルの構成は、Global Area Network (GAN) が12、Regional Broadband Global Area Network (RBGAN) が38となっている。

③ 9月7日：

アジア太平洋地域における人材育成でタイ王国がITUに協力  
ITUのセンターオブエクセレンス網の5拠点すべてが完成

**Thailand joins ITU to build ICT capacity in Asia Pacific  
All 5 nodes of ITU's Asia Pacific Center of Excellence  
Network are established**

(出典：[http://www.itu.int/newsroom/press\\_releases/2007/NP10.html](http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2007/NP10.html))

タイ王国政府は、アジアパシフィックセンターオブエクセレンス (ASP CoE) 網の一環として、事業経営訓練プログラムを担当することで、ITUと覚書を締結した。これにより、昨年10月の会合で構想された、アジア太平洋地域の5拠点、イラン (周波数管理)、マレーシア (地方におけるICT開発)、パキスタン (政策と規制)、韓国 (技術の普及)、タイ (事業経営) がすべて完成したことになる。タイの情報通信技術省が、場所、設備、プログラムに必要な人材と資材を提供、ITUは18か月間に及ぶ専門家の雇用費用、旅費、プログラ



ム完了までの管理と評価を担当する。ASP CoEの目的は、ICT技能の向上と人材開発面における、自立かつ持続可能な仕組み作りである。

#### ④ 9月10日：

##### ITUが莫大なオンライン・リソースを公開

公開で無料ダウンロードが可能に

##### ITU opens up huge online resource

Move will enable free downloads to the public

(出典：[http://www.itu.int/newsroom/press\\_releases/2007/21.html](http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2007/21.html))

ITUの電気通信標準化部門 (ITU-T) によるITUの標準は、現在オンラインにより無料で利用可能である。この発表は、今年1月から行われた試行が非常に成功したのを受けて行われた。試行中に世界で約200万のITU-T勧告がダウンロードされた。

試みの目的は「ITU-T成果を認識させ有効性を増加させる」ことであった。無料の公開は、ICT産業と標準化に携わるより多くの人々のために重要なステップである。インターネットのアクセス手段があれば、3000以上のITU-T勧告のどれでもダウンロードすることができる。

ITU標準化事務局のMalcolm Johnson局長は、先に開催された理事会でこの試行結果を報告した。同局長は、「試行はITU-Tの存在を高め、新メンバーに魅力をもたらした。更に大事なことは、標準化のリソースを持つ国と持たない国の標準化のギャップを埋める努力に役立つ」と述べた。

#### ⑤ 9月12日：

##### インド、ITU分担金を倍増

インドのICTは国際的なレベルへ

##### India doubles financial commitment to ITU

Growing Indian ICT presence goes international

(出典：[http://www.itu.int/newsroom/press\\_releases/2007/22.html](http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2007/22.html))

インドは、ITUへの分担金を、これまでの5単位から10単位 (318万スイスフラン) に倍増することを、9月12日にITUの理事会に報告した。インドは、ITUの“connect the world”の取組姿勢やオンラインでの情報提供、そしてサイバーセキュリティへの取組を高く評価しており、これらの施策に協力していくと表明した。また、資金面のみでなく、トップクラ

スの教育制度に裏打ちされた豊富なICT人材面でも協力するとした。ITU事務総局長のトゥーレは、「国連のミレニアム開発目標である、2015年までの接続目標を達成するためには、ICT分野におけるマーシャルプランが必要である。今回のインドの資金協力と同等の協力を他の国々にもお願いしたい」と述べている。

#### ⑥ 9月19日：

##### ITU TELECOM ASIA 2008をタイのバンコックで開催

アジアに潜在する成長力に焦点を当て関係者が集結

##### ITU TELECOM ASIA 2008 heads to Bangkok, Thailand

Key event will bring leading players together to focus on region's dynamic potential

(出典：[http://www.itu.int/newsroom/press\\_releases/2007/23.html](http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2007/23.html))

主要なICT展示とフォーラム、更に太平洋地域関係者の主要なネットワーキング・プラットフォームであるITU TELECOM ASIA 2008が、2008年9月2～3日にタイ・バンコックのIMPACT Exhibition Centerで開催される。

アジアは、ブロードバンド普及率 (人口100人当たり) 29%の韓国、25%の香港を含む最も高度なテレコム及びICTの市場で、さらに、モバイルの加入者約4億9400万の中国、1億6500万のインド等、世界最大で最も急成長している市場も含んでいる。

来場者を迎える主役であるワイヤレスや次世代モバイル等のわくわくする新技術は、アジア地域を横断的に発展している。これらの技術は、新規の巨大な数のユーザーを開拓する可能性を持っている。